

インターネットの普及予測について

2003年度、日本の世帯の60%以上、
延べ人口で1億人以上がインターネットを利用

株式会社 情報通信総合研究所（東京都港区南青山1-12-31、代表取締役社長：小原暉章）は、日本のインターネットの普及について予測を行い、その結果をまとめました。

予測は、2003年度までの、「家庭における固定網によるインターネット利用」と、「固定網（ビジネスを含む）と携帯電話によるインターネット利用」について実施いたしました。

*「固定網」とは、電話回線網並びにケーブルテレビ網を指します。

予測結果のポイント

1. 固定網によるインターネットの世帯普及率は、11.0%（1998年）から60.4%（2003年）に増加
2. 固定網と携帯電話を合わせたインターネットの人口普及率は、13.4%（1998年）から86.9%（2003年）に増加し、延べ人口で1億人を突破（固定網インターネット：約6200万人（人口普及率約50%）、携帯電話インターネット：約4800万人）
3. 米国との比較では、固定網によるインターネットの世帯普及率はほぼ肩を並べ、固定網と携帯電話を合わせたインターネットの人口普及率では、2001年に米国を上回る

予測結果**< 家庭における固定網によるインターネット利用 >**

固定網によるインターネットの世帯普及率は、1998年時点で11.0%ですが、2003年度末時点で60%を超えると予測します。（世帯普及率60.4%、約2875万世帯）（[グラフ1参照](#)）

家庭向けの通話料金定額制インターネットサービス、中高速インターネットサービスの登場や、パソコンの価格低下、電子メールの普及、電子商取引（EC）の広がりといった2000年度前後に発生した要因により、今後普及のペースが加速すると考えます。

また、米国とは1998年度末で普及率に3倍強の差がありましたが、2003年度末時点ではその差はほぼ解消されると予測します。（[グラフ3参照](#)）これは、上記の日本での普及の伸びに加え、米国での主なインターネット利用世帯である高所得世帯への普及が行き渡り、今後普及のペースが鈍化することが要因として考えられます。

< 固定網と携帯電話によるインターネット利用 >

固定網と携帯電話を合わせたインターネットの人口普及率は、1998年時点で、13.4%ですが、2003年度末時点で延べ人口で86.9%、延べ1億人以上がインターネットを利用すると予測します。（人口普及率86.9%、延べ約1億1千万人）（[グラフ2参照](#)）

これは、固定網による家庭でのインターネット利用の順調な普及に加え、学校へのインターネット導入等により家庭以外の場所での利用も増え、また、1999年度から登場した携帯電話を用いてのインターネット利用が急速に普及するためと考えます。

また、2001年度には人口普及率において、米国を抜くと予測します。（[グラフ4参照](#)）上記の日本の伸びに対して、米国では携帯電話によるインターネット利用が日本ほどには伸びないと予測されていることが背景としてあります。

研究会の設置 本予測を行う上で、研究会（「ネット・エクスポージョンを考える研究会」）を設置し、下記の点を中心に、予測に関してご助言いただきました。

- インターネットの日米格差
- 普及を促進/阻害する要因
- 今後のアプリケーション

- 今後のインターネット端末

「ネット・エクスポージョンを考える研究会」メンバー（敬称略）

(座長)	東京大学	大学院総合文化研究科 教授	廣松 毅
	東京大学	社会情報研究所 教授	須藤 修
	東京大学	大学院工学系研究科 教授	青山友紀
	慶応義塾大学	大学院経営管理研究科 助教授	國領二郎
	株式会社電通	メディア・コンテンツ統括局 調査部長	吉田 望



[株式会社情報通信総合研究所・概要]

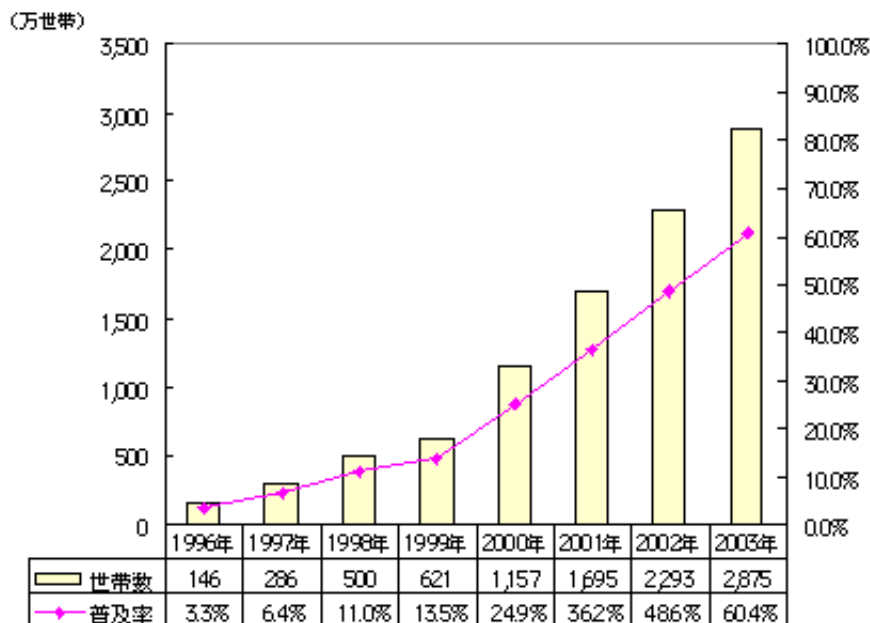
1985年6月に電気通信総合研究所（現財団法人国際通信経済研究所）から分離、設立されました。国内外の情報通信に関する調査・研究を専門としたシンクタンクとして、国、地方自治体、情報通信関連企業から調査・研究プロジェクトを受注、コンサルティングを行う等、多方面から高い信頼をいただいております。

< お問い合わせ先 >

株式会社情報通信総合研究所
通信事業研究担当 須田 英二
03-3470-7556
suda@icr.co.jp

「家庭における固定網によるインターネット利用について」

＜グラフ1＞ 固定網によるインターネット利用世帯数と世帯普及率



〔普及率〕 1996～1998：郵政省通信白書平成11年版より

1999～2003：情報通信総合研究所予測

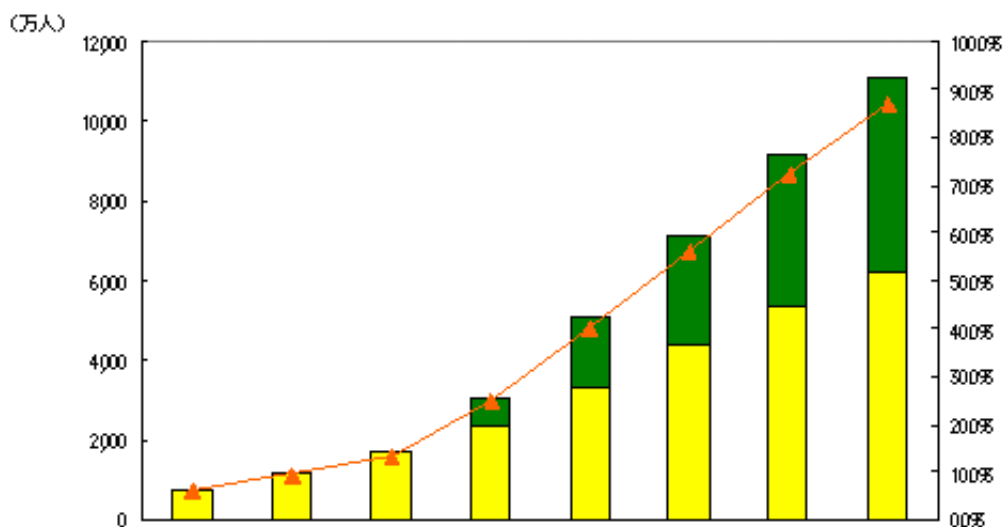
〔世帯数〕 1996～1998：上記普及率と、国立社会保障・人口問題研究所

日本の世帯数将来推計より、情報通信総合研究所が算出

1999～2003：情報通信総合研究所予測

「固定網と携帯電話によるインターネット利用について」

＜グラフ2＞ 固定網と携帯電話によるインターネット利用人口と人口普及率



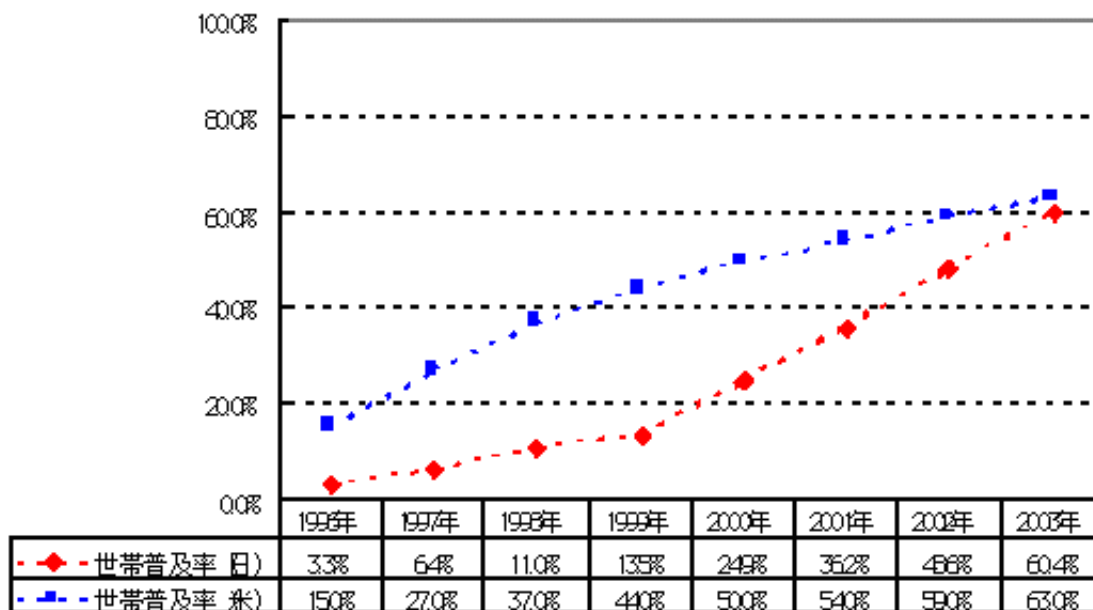
	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年
インターネット利用人口 （約計）	783	1,155	1,694	3,132	5,126	7,177	9,192	11,075
■ 固定網でのインターネット	783	1,155	1,694	2,442	3,359	4,374	5,378	6,268
■ 携帯電話インターネット				690	1,767	2,803	3,814	4,807
— 人口普及率	6.2%	9.2%	13.4%	24.7%	40.4%	56.5%	72.2%	86.9%

〔固定網〕 1996～1998：郵政省通信白書平成11年版より（1996は推計）
1999～2003：情報通信総合研究所予測

〔携帯電話〕 情報通信総合研究所予測

(参考)「米国との比較」

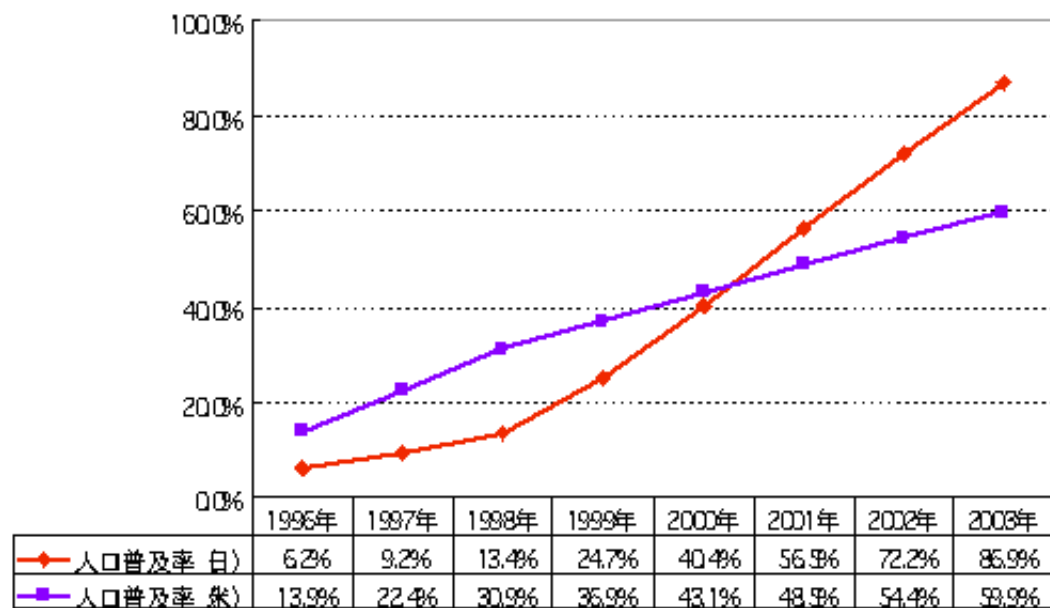
<グラフ3> 米国との比較 (固定網世帯普及率)



(米国世帯普及率) Jupiter Communications社の資料より

(参考)「米国との比較」

<グラフ4> 米国との比較 (固定&携帯人口普及率)



(米国人口普及率) Jupiter Communications社等の資料より情報通信総合研究所が作成